

今日は、初めに、気候変動に関するお話します。

まず、気候変動とは何かということですが、これは、地球の気候が長い期間にわたって変化していくことを指します。例えば、地球温暖化と言われるように、今、地球はだんだん暖かくなっています。

その主な原因は、二酸化炭素などのガスだと言われています。そして、このガスは、私たち人間が物を製造したり、車を運転したりすることで出るのであります。

気候変動によってたくさんの方が起きている。例えば、海の水が増えて島が沈んでしまうことがあります。また、動物や植物が住みづらくなります。身近なところでは、大雨や干ばつなどの自然災害が増えるということもあります。それでは、この気候変動を止めるためにはどうすればよいのでしょうか。まず、電気や水を節約することです。また、できるだけ車を使わないで、歩くか自転車に乗るといったことも重要です。リサイクルをすることや木を植えることも、二酸化炭素を減らすことにつながります。気候変動は大きな問題であります。少しづつ努力をすれば地球を守ることができます。一人一人ができることから始めてみようではありませんか。

それでは、次のお話をします。高校時代の部

活の話であります。

私はスポーツが得意だったので、サッカー部に入りました。できたばかりの弱いチームでしたけれども、県大会に出場することを目標に一生懸命練習をしました。残念ながら目標は達成できませんでしたが、大会や練習試合にはたくさんのお話が出が詰まっています。

もちろん、試合だけではありません。毎日の練習やイベントの中でも喜びや楽しさがたくさんありました。その中で特に印象に残っているのが、学校の持久走大会であります。

私は長距離が大の苦手でありました。ところが、サッカー部は速い人ばかりです。そのため毎年プレッシャーが半端ではありません。いつも逃げ出したくなるような思いで参加していました。しかし、練習の成果でしょうか、三年生のとき、初めて上位でゴールすることができたのです。この経験を通して、仲間と共に同じ目標に向かって努力することが、人間を成長させてくれるということを感じました。

私は、高校時代の部活はとて大切なものだと思います。部活を通じて得られたチームワークや達成感は、将来の仕事に必ず役立つと思うからであります。(了)

6 級

初めのお話をします。

この春、小学校に入学した新一年生は、全国で九十五万人ということですが、新しいランドセルを背負って通学する姿を見かけますと、とてもほほ笑ましく感じられます。

ところが、お子さんが小学生になると、仕事と子育ての両立が難しくなるケースがあるそうです。この問題を解決するためには、地域の協力体制が不可欠だと思います。そして、学童保育の充実や働き方改革などを推し進めて、子育て世帯への支援を厚くすることが必要だと考えます。

次のお話をします。

先月、大阪・関西万博が開幕しました。この地域で万博が開催されるのは、五十五年ぶりだそうです。

今回は、命の大切さを表現した展示内容になっているとのことでもあります。開幕を迎えるまで、様々な困難や課題がめじろ押しでした。しかし、関係者の努力によって無事にスタートすることができました。

多くの国と地域が万博の名の下に集います。世界中の八割に当たる国の人々と直接出会う機会です。成功を祈りたいと思います。(了)